

教科(科目)	芸術(音楽I)	単位数	2単位	学年(コース)	4学年
使用教科書	教育芸術社『MOUSA 1』				
副教材等	啓隆社『Music Note』				

## 1 学習の目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

## 2 指導の重点

- ① 仲間と一つの音楽を作り上げる活動を通して、協調性を育てます。
- ② 様々な作品に触れることで音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てます。
- ③ 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てます。
- ④ 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てます。

## 3 学習計画

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
4	発声基礎		歌唱を行う上で大切な発声の基礎を学ぶ。	4	
	リズム基礎	リズム打ち	確かな読譜力とリズム感を養う。	4	実技テスト
4	基礎楽典	音楽の基礎知識 1-3	中学で習得した楽典を復習する。	4	小テスト
	ソルフェージュ	コールユーブンゲン	歌唱能力及び、音程感覚を鍛える。	4	発表
5	歌唱(1)	『ひまわりの約束』	正しい音程、楽曲の構成を知覚し、歌唱表現する。	2	発表
	鑑賞(1)	『天使にラブソングを』	音楽のすばらしさ、ゴスペルの魅力を感じ取る。	3	感想レポート
6	歌唱(2)	『Oh Happy Day』	ゴスペルを曲調に合わせて歌う。	4	発表
	鑑賞(2)	『天使にラブソングを 2』	音楽のすばらしさ、新しいことに挑戦するすばらしさを感じ取る。	3	感想レポート
7	器楽(1)	『ディズニーメドレー』	ハンドベルの奏法を習得し、合奏をすすめる。	4	発表
	鑑賞(3)	『スウィング ガールズ』『枯葉』	他人と演奏する楽しさ、素晴らしさを感じ取るとともに、ジャズに触れる。	4	感想レポート
9	歌唱(3)	『O sole mio』	表情豊かにイタリア歌曲を歌う。	4	実技テスト
	基礎楽典	音楽の基礎知識 4-7	楽譜を読み取るうえで必要な楽典をすすめる。	4	小テスト

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
10	器楽(2)	『ハナミズキ』	共演者の音を聴きながらハンドベルを演奏。	3	発表
	鑑賞(4)	『ボレロ』	各楽器の音色を感じ取る。	2	感想レポート
12	歌唱(4)	『むこうむこう』	情景を思い浮かべながら思いを込めて歌唱する。	4	実技テスト
	器楽(3)	『見上げてごらん夜の星を』	共演者の音に耳を傾けながら、リコーダーを演奏する。	4	発表
1	歌唱(5)	『レットイットゴー ありのままに』	楽曲の展開を理解し、歌唱表現する。	2	発表
	鑑賞(5)	音楽劇『暗いところで待ち合わせ』	音楽と劇が融合する魅力を感じ取る。	3	感想レポート
3	器楽(4)	アンサンブル	編成やメンバーを自由に組み、演奏する。	8	発表

計 70 時間(50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の初めに、曲紹介を実施します。</li> <li>・鑑賞の際に、レポートの作成を課します。</li> <li>・授業内で小テストを実施します。</li> </ul>
--

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現)(技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心をもっている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受したうえで、ふさわしい音楽表現を工夫し、思いや意図をもって表現することができる。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受したうえで、解釈したり価値を考えたりすることができる。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み(授業態度、忘れ物)</li> <li>・授業内での小テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・成果発表</li> <li>・提出物の内容</li> </ul> <p>などから、総合的に評価します。</p>			

#### 6 担当者からの一言

<p>歌や楽器を演奏する楽しさ、難しさを感じるとともに、他人と共に一つの音楽を作り上げる活動を通して、より他人の気持ちがわかる人になってほしいと思います。また、皆さんが普段耳にするような J-Pop や洋楽などのジャンルや数百年前に作曲され、今日でも「名作」とされる作品の魅力を音楽の授業を通して皆さんにお伝えできれば幸いです。</p> <p style="text-align: right;">担当：木村</p>
--